

令和6年度 第二次福知山市上水道事業等包括的民間委託
第三者アドバイス会議 概要

1 日時 令和6年9月18日（水） 午後1時30分～午後3時00分

2 場所 福知山市上下水道部庁舎301会議室

3 出席者

アドバイス 委員	足立 泰美（甲南大学経済学部 教授） 碓 正登（京都府建設交通部水道政策課 課長） 渡邊 聡 （京都市上下水道局水道部施設課 担当課長）
市	福知山市上下水道部
受託者 ・関係者	ウォーターサービスきほく株式会社 福知山管工事協同組合

4 会議進行概要

	次第	内容
1	挨拶・紹介	出席者の紹介・挨拶
2	第一次包括的民間委託 令和5年度モニタリング評価の報告	福知山市より、令和5年度までの第一次包括委託について、モニタリング評価及び水道事業経営への効果などを報告しました。 資料：【令和5年度モニタリング評価書】
3	第二次包括的民間委託 業務要求水準の説明	福知山市より、第二次包括的民間委託の事業実施における要求水準について説明を行いました。 資料：【業務要求水準書】
4	第二次包括的民間委託 令和6年度業務実施計画の説明	受託者より提示された令和6年度の業務実施計画について、人員体制・業務遂行方針・災害時対応方針・各業務の実施上のポイントなどの概要説明を行いました。
5	第二次包括的民間委託 令和6年度達成状況進捗の説明	令和6年7月までの履行状況及びパートナーシップ会議での協議事項について概要説明を行いました。
6	まとめ（委員評価・意見）	外部委員より事業計画及び今後の事業実施について、アドバイスを頂きました。

5 外部委員からの主な意見・アドバイス事項

(1) 第一次包括委託について

○水道事業の一部を受託者に任せられたことで市のマンパワーが生み出され、管路更新や耐震化を進めることができたことを評価する。

(2) 第二次包括委託について

○督促状の送付や電話催告、給水停止処分や差押などの徴収業務について、分担や引継ぎを明確にして市と受託者が連携し効率的な業務を進めていただきたい。

○市職員の技術力確保は重要な課題であり、工事に係る設計業務を行う人材が必要であることから、浄水施設や管路など現場知識をしっかりと身に付けていくことを継続していただきたい。

○断水などの緊急対応をした際は、技術継承の面でも事後に振り返ることが重要である。さらに地震などの大規模災害は、受託者だけでは対応が困難であることから、受託者においてもBCP（事業継続計画）や訓練において、市との連携を盛り込むことを検討していただきたい。

○「水道ビジョン執行の課題」や「アセットマネジメントの妥当性確認」といった点を受託者側も検討し、次年度に繋げながら水道事業を推進していただきたい。

○第二次包括委託の業務期間の中で、点検データなどを官民共有してアセットマネジメント計画に反映させ、今後の展望に繋げていただきたい。

○上下水道の一体的な運営や北部圏域の連携など、広範囲な視点で将来を検討していく必要があり、国や京都府とも協力して進めていただきたい。

6 まとめ

第一次については、5年間のモニタリングの総括を報告する中で、実績や成果から一定の評価をいただきました。

第二次では、包括委託の範囲を拡大し、受託者とはパートナーシップという関係性で水道事業を運営しております。委員のみなさまからいただいたご意見・アドバイスを参考に、次年度以降の業務計画に反映するとともに、第三次以降の水道事業の運営のあり方について、ウォーターPPPも視野に入れて検討を進め、安心・安全な水道水の供給に努めます。